

超高齢化社会における居住の在り方 に関する研究プロジェクト報告書

2012年3月

石川居住研究会

はじめに

超高齢化社会の進展に伴う居住問題の解決には、高齢者の施設居住とともに、在宅による家族による支援や地域による見守りなどによる施策を検討する必要がある。また、平成21年5月に「高齢者住まい法」が改定され、都道府県などの住宅部局と福祉部局が連携して「高齢者居住安定確保計画」の策定とその具体化が進められている。

本研究では、全国的な動向の調査とともに、石川県を対象として、県と市町の関連部局とも協力しながら、高齢者の居住実態に関する調査分析にもとづいて、超高齢社会が進展する中で少子高齢化に伴う居住の実態とニーズを明らかにし、今後の高齢者人口や施策対象者数の予測などを行い、また、関連する制度と施策の整理と分析、事例の市町や地区を対象とした高齢者の居住と福祉施設や地域との関わりの分析により、それらの実態と課題を明らかにするとともに、高齢者の地域居住のあり方についての提案を行うものである。

なお、本研究は、石川県における複数大学の関連分野の研究者が研究会（石川居住研究会）を設けて、石川県の関係部局の参加も得ながら、そこでの研究的討議を行い、進めた。また、事例市町としては、石川県の担当部局を通じて市町の意向を確認して検討し、金沢市、七尾市、加賀市の3市としている。

本調査研究は、石川県の「大学・地域連携プロジェクト」の一つとして、2010年度と2011年度に行われたものであり、本報告書は、これまでの成果をとりまとめたものである。また、本研究の成果は、石川県主催による「大学・地域連携アクティブフォーラム」（2月26日（日）、本多の森ホールにて開催）で報告するとともに、本研究会としても、下記のシンポジウムを開催して、県民に直接報告を行った。

「いしかわの高齢者の住まいシンポジウム-高齢期を安心して暮らすために-

【主 旨】

高齢者は住みなれた住まいや地域で暮らし続けていく要望が強く、また、高齢者が増えていく中で、福祉施策も在宅による各種施策の展開が行われてきている。石川居住研究会では、大学・地域連携プロジェクトとして石川県より研究助成を受けて研究を進めてきた。本シンポジウムでは、石川県におけるこのような実態を明らかにし、今後の住宅分野と福祉分野および両者の連携のあり方について提言を行うものである。

高齢者の住まいや福祉に関わる関係者をはじめ、広く県民の方々の参加を期待します。

開催日時：平成24年3月10日（土） 13:30-16:30

場所：しいのき迎賓館3階セミナールームB

主催：石川居住研究会 共催：石川県

○プログラム

参加受付 13:00-13:30

開会挨拶 川上光彦（金沢大学教授） 13:30-13:40

【第1部 基調報告】

報告1 西野達也（金沢大学助教） 13:45-14:15

「石川における高齢者の住まいの実態と課題」

報告2 眞鍋知子（金沢大学准教授） 14:15-14:45

「高齢期における住まいの支援～地域コミュニティの共助から～」

休憩 14:45-15:00

【第2部 パネルディスカッション】 15:00-16:20

パネリスト 曾我千春（金沢星稜大学准教授）

沈 振江（金沢大学准教授）

増田達男（金沢工業大学教授）

山岸雅子（金沢大学教授）

コーディネーター 川上光彦（前出）

閉会の挨拶 山岸雅子（前出） 16:20-16:30

○その他

対象: 住宅関係者、高齢者施設等関係者、一般県民、学生、他

参加無料、事前登録不要、当日の受付で所属・氏名申告

当日配布資料: 報告用スライドファイルのコピー

問合せ先: 金沢大学理工研究域環境デザイン学類 川上光彦

Tel:076-234-4914 Eメール kawakami@t.kanazawa-u.ac.jp

調査研究を進めるに際して多大のご協力をいただいた関係者や関係部局に心からお礼を申し上げますとともに、本報告書の内容が、石川県における、今後の高齢者居住施策の進展に参考になれば、まことに幸いです。

2012年3月

石川居住研究会

主査 川上 光彦

目 次

1. 石川県における高齢者の居住実態と通所介護の実態	1
1-1 石川県における高齢者世帯	1
1-2 高齢者のいる世帯の住宅の設備状況	3
1-3 高齢者の居住する住宅に対する意識	9
1-4 金沢市における通所介護と訪問介護	14
1-5 まとめ	23
2. 石川県における高齢者人口分布と福祉施設配置	26
2-1 ディケアサービスの判定基準とセンターの設置基準	26
2-2 金沢都市計画区域におけるディケアセンターの立地と利用	29
2-3 金沢都市計画区域におけるシミュレーションの実行と結果考察	34
2-4 金沢市における町丁別のケアセンター利用	39
2-5 まとめと今後の課題	48
3. 金沢市における高齢者の居住に関する基礎調査	51
3-1 都市動態と予備調査	52
3-2 「光が丘2丁目」の現況	54
3-3 高齢者の居住に関する意識調査	58
3-4 県内自治体における高齢者ニーズ調査	68
3-5 まとめと提言	71
4. 高齢期における地域居住の実態とニーズ	74
4-1 高齢者の居住と意識の変化	74
4-2 研究の目的・方法	75
4-3 調査概要	75
4-4 住宅・住環境評価	78
4-5 親世帯・子世帯の住み方	80
4-6 高齢期に重視すること	83
4-7 今後の居住意向	86
4-8 今後必要な地域活動	88
4-9 総括	91

5. 高齢期における住まいの支援～地域コミュニティの共助から～	94
5-1 地域コミュニティにおける共助の重要性	94
5-2 ソーシャル・サポート・ネットワーク論からみた地域コミュニティの共助	95
5-3 地域コミュニティの共助に関するインタビュー調査結果	96
5-4 おわりに～サポート・ネットワーク構築のための提言～	106
6. 高齢期における住まいの支援～社会福祉の視点から～	108
6-1 目的と方法	108
6-2 インタビュー調査結果の概要	108
6-3 住まいと福祉の課題克服の一参考として	115
6-4 おわりに	117
7. 小規模多機能型施設を利用する高齢者の地域居住サポート環境に関する事例考察	119
7-1 研究の方法	119
7-2 調査の結果	120
7-3 個人別サポートモデル	126
7-4 地域別サポートモデル	130
7-5 まとめ	135
8. 地方中核都市における高齢者通所介護施設利用者の日常生活圏域の実態	136
8-1 研究の方法	136
8-2 日常生活圏域の実態	137
8-3 まとめと今後の課題	141
9. デンマーク高齢者住宅の平面構成分析	142
9-1 研究の方法	142
9-2 高齢者住宅に関する規定	143
9-3 面積と室の結合関係の量的分析	143
9-4 室構成の類型化分析	145
9-5 まとめ	146

【石川居住研究会】

主査 川上 光彦（金沢大学教授、総括・編集、1章）

曾我 千春（金沢星稜大学准教授、6章）

沈 振江（金沢大学准教授、2章）

西野 達也（金沢大学助教、7,8,9章）

増田 達男（金沢工業大学教授、3章）

眞鍋 知子（金沢大学准教授、5章）

山岸 雅子（金沢大学教授、4章）

*（ ）内は執筆担当を示す。

【調査研究参加者（所属・学年はすべて調査参加時）】

・金沢大学

大学院自然科学研究科博士後期課程；馬 妍

大学院自然科学研究科博士前期課程；胡 飛瑜、北村 謙一、

グエン・ディン・タン

工学部土木建設工学科4年；瀬 亮介、中野 未那

理工学域環境デザイン学類4年；中谷 静乃

・金沢工業大学

環境・建築学部建築都市デザイン学科4年；吉川 泰輔、向 揚、岡 元紀、

松枝 拓希、南 翔太

環境・建築学部建築学科4年；岩瀬 元希、多知 孝宣、中嶋 康裕

【石川県担当者（所属・肩書きはすべて調査研究参加時）】

・土木部建築住宅課

課参事 竹内 正人

主幹 三谷 浩二郎、矢尾 満

主任技師 小川 博之、勝田 航、星名 啓、

・健康福祉部長寿社会課

課長補佐 一原 善政、鍋岡 秀樹、道原 正浩

・健康福祉部少子化対策監室

主事 宇佐美 薫、藤田 有香